

遂ニ英國第一ノ名畫師ト稱セララル、ニ至レリ一千八百十五年勳爵士ニ敘セラ
ル同年リゲント侯ニ聘セラレテアクスラシヤベルト云フ所ニ至リ各國ノ使節
ヲ一覽シ其肖像ヲ寫シ取り直ニヴェネチアニ進ミ又羅馬ニ至リテ歐洲諸國傳來
ノ古畫ヲ目撃スルノ幸機會ヲ得タリ「サー」トマス此一行ニ於テ諸國ノ宮殿ニ招
待セラレ敷多ノ帝王ニ謁見シ非常ノ尊敬榮譽ヲ得テ本國ニ歸レリ斯テ海外ニ
遊ビ費ス所ノ年間凡ツ五年ニ過タリト云フ

是ヨリ先キ「ローヤルアカデミー」ノ校長死ス「サー」トマスラウレンス之ガ後任ヲ
命ゼラレ終身其職ヲ奉ゼリ一千八百三十年一月七日俄然トシテ歿ス

第二十五章 トマステルフォールド

トマステルフォールドハ一千七百五十七年ノ頃ダムフリーノウエストルカルク
ニ生レタリ家貧ニシテ學校ノ教育ヲ受クルノ幸福ヲ得ズ幼年ヨリ石工ヲ以テ
業トナセリ幸ニシテトマス其業ニ熟シ石材彫刻ノ巧ナル之ニ如ク者ナク他人
ノ如ク多クノ勞働ヲナサズシテ若干ノ時間ヲ讀書ニ費ヤシ傍ラ詩文ヲ自修セ
リ其學業ニ進歩セル甚ダ速ニシテルデマン氏ノ毎週新誌中エスクデールタム
ノ名ヲ以テ詩文ヲ投ゼシハ其幼年ノ頃ナリシト云フ

トマス石工修業ノ年期既ニ滿ツルニ及ビテ居ヲエデンボロ府ニ轉シ職ニ就ク
共事業ノ傍ラ尙彫刻術ヲ研究セリ一千七百八十二年ニ至リ同郷人ヂョンスト
ーン氏ノ助力ヲ以テ英都ロンドンニ遊ブ

トマステルフォールドロンドンニ至リ久シカラズシテ用ヒラレ共才智ノ俊秀ナ
ルト勉勵ノ非常ナルトヲ以テ名聲高ク聞エ遂ニ政府ニ屬スル工業ニ雇用セラ
レタリ初メポルトマス造船場長ニ任ゼラレテ甚ダ功アリ尋テ一千七百八十七
年サロブ(英國ノ島地工業頭ニ任ゼラレ終身其職ヲ奉ゼリ

此ニテルフォールドノ事業ヲ詳記セント欲スルモ只讀者ヲシテ倦マシムルヲ恐
レ僅ニ其二三ヲ舉テ以テ其智慧ノ非凡ナリシコトヲ示サム抑メナイコンウエ
ーノ大橋カレドニヤン溝セントカタン造船場ホリヘンドノ道路及橋梁ハイラ
ンドノ道路及橋梁ポントシサルトノ水道ザロブノ溝河其他諸所ノ大工事ハ皆
デルフォールドノ起業ニ係レリ
其工業ハ獨リ英國ヲ益スルニ止マラズ一千八百〇八年瑞典國ノ政府ニ聘用セ
ラレ海陸ノ測量ヲ爲シ彼ノ地ノ大湖水ヨリ北海ホルチック等ニ交通スル船路
開鑿ノ一大工事ヲ成就シ然ル後國ニ歸レリ

前ニ記載スル所ノ工事中最モ巨大ナルモノハロンドンヨリホリヘッドニ至ル
 ダブリン線路ナルメナイコンウエーニ懸設シタル大橋梁ニ如クモノナシ其構
 造ノ精巧ニシテ且^ツ巍々タル景像ハ人目ヲ驚カシムルニ足ル一千八百二十六年
 三橋ノ大船初メテ其橋下ヲ通過セリ時ニ橋ノ頂上ヨリ橋梁ノ直下ニ至ル尙一
 丈有餘ノ間隙ヲ存シタリト云フテルフォールド生涯ノ工業中其心思ヲ焦シタル
 モノハ此橋梁ヨリ甚シキモノナシテルフォールド曾テ友人ニ告テ曰ク余ガ彼ノ
 橋梁將ニ竣工セントスル暫時以前ノ苦慮ニ於ケル夜ハ眠ルコト能ハズ若シ此
 ノ如キコト尙久シカリシナランニハ余ハ必ズ健康ヲ害セシナラムト
 抑^テルフォールドハ獨リ工業ニ於テ卓越シタルノミナラズ其品行ニ於テモ著シ
 ク衆ニ秀デタリテルフォールド氣質快活ニシテ人ニ親ミ易ク爲メニ當時有名ノ
 人士ハ殆ンド皆其交際ニ與ラザル者ナシ就中善ク人ヲ用ヒ常ニ厚ク之ヲ愛遇
 セリ又大ニ書生ヲ愛シ貧ニシテ學ヲ修ルコト能ハザル者ニハ自ラ學資ヲ出シ
 テ其志ヲ助ケタリ又自ラ學ヲ好ミ^ニ勉^ニ公務ヲ盡スノ傍ラ^ニ羅^ニ旬^ニ語^ニ佛^ニ語^ニ獨^ニ語^ニ等ヲ
 獨修セリ數學ハ之ヲ實地ニ施シ別ニ之ヲ研究セシコトナシ其築設セシ工事ノ
 圖面及法方ノ如キハ悉ク之ヲ書冊ニ編シテ後世ニ遺セリ

テルフォールド曾テ數年ノ間膽病ヲ患ヒシガ遂ニ之ガ爲メニ生命ヲ失ヘリテル
 フォールド終身妻ヲ娶ラズ一千八百三十四年九月二日其自宅ニ於テ卒スウエス
 トミニストルノ寺院ニ於テ墳墓于今存セリ

第二十六章

「サ」ウ井リヤムヘルシエル

抑^テ天文ノ學術ハ彼ノ有名ナル曆家コペルニカス以來マイコーブラヘハイヂ
 エンスニウトン其他多クノ著名ナル學士ニ依テ益々進歩セリ然ルニ獨逸國ウ
 井リヤムヘルシエルハ此等ノ諸士ニ劣ラザルノ大家ナリシヲ以テ今此ニ其
 傳ヲ略記ス

ウ井リヤムヘルシエルハ一千七百三十八年十一月十五日ハノーヴルニ生レ
 タリ其兄弟總テ四人ナリシガウ井リヤムハ第二子ニシテ幼少ヨリ父ニ從ヒ專
 ラ音樂ノ教育ヲ受ケタリ父其秀才ニ感シ爲メニ師ヲ需メテ論理道義心理等ノ
 學科ヲ修メシメタルモ種々ノ障礙ヲ免カルコト能ハズ遂ニ半途ニシテ廢學
 セリ齡僅カニ十四歳ノ時ハノーブル陸軍ノ樂隊ニ編入セラレ一千七百五十七
 八年ノ頃行軍シテ英國ニ赴ケリ其父亦之ト同時ニ英國ニ至リ數月ヲ經ズシテ
 本國ニ歸レリ時ニヘルシエル英國ニ在テ身ヲ立テント欲スルノ志アリシヲ以

テ之ヲ此ニ留セシムヘルシニル何時又如何ニシテ彼ノ樂隊ヲ脱セシヤハ余輩
 之ヲ詳ニセズト雖接ズルニダルハム英國ノ北部民兵募集ノ頃ダーリントン
 侯ニ召サレ陸軍樂隊長ニ任セラレ暫時兵樂ノ教授ヲナセリ後又ヨークンヤニ
 在留シテ數年間音樂師範ヲ以テ業トナセリ時ニ門人甚ダ多ク且ツ教會ニ於テ
 聖樂ノ俗人ニ用ヒラレタリ斯テウヰルリヤムヘルシニル既ニ活路ニ困シムコ
 トナキニ至リシカバ側ヲ共知シテ磨キ英語以太利語等ヲ研究シ加フルニ羅
 希臘等ノ語ヲ以テセリ其目的ハ素ヨリ音樂ニ關スル諸國ノ書籍ヲ解スルニ在
 リシノミヘルシニル英語ヲ以テ書シタル最モ有益ノ音樂論即チ彼ノロベルト
 スミス博士ノ著書ヲ讀ムニ至テ始メテ數學ノ能ク音樂ヲ解スルニ必用ナルコ
 トヲ悟リ是ヨリ專ラ意ヲ數學ニ注キ暇ノ時間ハ決シテ他事ヲ試ミザリキ
 一千七百六十五年ノ末ハリフツクスノ教堂風琴師ニ聘用セラレ翌年其兄ニ
 從ヒパスニ往テ暫時滞在セル際ヘルシニルガ音樂ニ巧ナルコト自然ニ聞エ遂
 ニ教會奏樂師ニ用ヒラレ居ヲパスニ轉ゼリヘルシニル此ニ來リシハ大ナル僥
 倖ニシテ其本務ニ由テ若干ノ謝金ヲ受領スルノミナラズ側ヲ或ハ門人ヲ教ヘ
 或ハ貴人ノ筵席ニ招カレ或ハ劇場ニ雇ハレテ過分ノ金錢ヲ得タリ然レモヘル

シニル之ガ爲メニ其學ヲ怠ルコトナク依然トシテ數學ノ眞理ヲ研究シ時トシ
 テ日々十二時乃至十四時ノ間音樂唱歌ヲ勉強シ氣力既ニ衰ヘタル後復タ數學
 ヲ研究セシコト少カラズ既ニシテヘルシニル忽チ幾何學ヲ卒ヘタルヲ以テ是
 ヨリ數學ニ關スル諸般ノ學科ヲ研究セント欲シ天文學及光學ノ書類ヲ求メテ
 專ラ之ヲ誦讀セリ當時人アリ天文學上二三ノ發明ヲナセリヘルシニル奮然自
 ラ天體ヲ實驗シテ其讀ミシ所ノ奧妙ヲ窺ハント欲シ或人ヨリ二尺許ノ望遠鏡
 ヲ借領セリ其後尙大ナル鏡ヲ得テ永ク之ヲ私有セント欲セシモ價廉ナラザル
 ヲ以テ容易ニ購フコト能ハズ大ニ之ヲ悲歎セリ然レモヘルシニル望遠鏡ヲ得
 難キヲ以テ敢テ絶望スルコトナク自己ノ手ヲ以テ之ヲ製造センコトヲ企テ百
 折屈セズシテ終ニ美功ヲ奏スルコトヲ得タリ
 ヘルシニル既ニ榮名ヲ輝カスベキ時期ニ達シ即一千七百七十四年其自製ナル
 五尺許ノ望遠鏡ヲ以テ初メテ天體ヲ窺ヒ土星ヲ見ルヘルシニル大ニ喜ビ殆ン
 ド手ノ舞ヒ足ノ蹶ム所ヲ知ラズ是ヨリ愈々天文ノ學ニ熱心シ漸々音樂ノ事務
 ヲ減少セント欲シテ其門弟ヲ謝絶セリ其後更ニ善良ナル望遠鏡ヲ製造セント
 欲シ耐忍勉強以テ久シキ年月ヲ經過セシガ終ニ七尺壹丈乃至貳丈ノ數個ノ大

鏡ヲ成就セリヘルシエル此七尺ノ望遠鏡ヲ製作スルニ當テ最モ困苦ヲ極メニ百有餘ノ鏡ヲ製シ了ルノ後初メテ其意ニ適スル一鏡ヲ造リ出スコトヲ得タリト云フ又其製作ノ業ニ於ケルヤ日々十二時乃至十四時ノ間寸陰ノ休息ヲ爲サズ専心一思屢々飲食ヲ忘レタリト云フ

一千七百八十一年三月十三日ヘルシエル初メテ天文上ノ大發見ヲナセリ抑々此發見アルヤ初メ其自製ノ最良ナル七尺ノ望遠鏡ヲ以テ日々天上ヲ望ミ凡ソ一年有半ノ久シキ間彼ノ無量世界ヲ熟視シタルニ是夜ニ至テ其未ダ曾テ見ザル所ノ星アルコトヲ見出セリ其星稍々衆星ト異ナル所アルヲ以テ尙ホ精細ニ之ヲ試験セシニ暫時ノ間ニ多少其位置ヲ變シタルガ如キヲ以テヘルシエル且ツ驚キ且ツ喜ビ翌日復々之ヲ窺ヒシニ果シテ其位置ノ變シタルコト判然セリ是ニ於テヘルシエル之ヲ曆官マスケリンニ報シ其意見ヲ問フ某以爲ラク是レ則チ彗星ノ新タニ現出セルニ外ナラズト依テ尙數月ノ間之ヲ驗セシニ此星實ニ古今ノ新發明ニシテ彗星ニアラザルコトヲ確知セリヘルシエル乃チ當時英國ノ王ヂョルヂノ尊榮ヲ顯ハサンコトヲ欲シテ其遊星ヲヂョルヂヤムシダスト叫ベリ謂フコハロハヂョルヂ星ナリ今一般ニ之ヲ天王星ウラニウスト曰フ

ヘルシエル天王星發見ノ後續キテ之ガ衛星ヲ發見セシガ其數六個ヨリ少カラサリシ

ヘルシエル此一大發明アリシガ爲メニ名聲益々高ク國王之ニ祿ヲ給シテ専ラ天文ニ從事セシメ音樂ノ事業ヲ廢セシム是ニ於テヘルシエルパスヲ去リスラウニ遷リ爾後身ヲ終フルマデ専ラ天文ノ事ヲ務メ全ク他事ニ關セザリキ擧望遠鏡改良ノ功ハ獨リヘルシエルニ歸シテ可ナリトス共スラウニ於テ建設シタル望遠鏡ハ長サ四丈ニ下ラザリシガ此大鏡ノ製作ニ着手セシハ一千七百八十五年ノ末ニシテ一千七百八十九年八月二十八日ニ至リ其工ヲ竣ヘタリ而ソ即夜之ヲ以テ天王星ノ第六衛星ヲ發見シ後又其第七星ヲ見出セリ

或人曰クヘルシエルノ天文學ニ熱心ナル實ニ甚シク數年ノ間夜ハ決シテ床ニ臥セズ家屋ノ内ニ居ラズ春夏秋冬何ノ時候ヲ擇バス天晴レ星現ハルノ夜ニ於テハ必ズ國中霜露ニ曝サレ暮ヨリ曉ニ至ルマデ空ヲ望テ星宿ヲ觀察セリ斯ル經驗ニ依テ其眼力倍々強キヲ加ヘ遠隔最モ甚シキ世界ヲモ能ク其眼裏ニ寫スコトヲ得タリ一千八百〇二年ヘルシエル星宿綱目壹部ヲ著シ之ヲローヤルツサイエチニ贈リ世人ヲレテ無量世界ノ絶妙ナルコトヲ知ラシメタリ

夫レヘルシエルの勳功斯ノ如キヲ以テ一千八百十六年英國ヂヨルチ第四世之ニ勳爵ヲ賜ヘリ一千八百二十二年八月二十三日ヘルシエルク古ノ人トナル時ニ齡八十三歳初メ此人最モ貧賤ナル樂手ヨリ起リ功成リ名遂グ後世ニ至ルマデ世人ノ尊譽ヲ受ク嗚呼讀者盍ソ奮然志ヲ興サマル

第二十七章 「サー」ハムフリーデヴヰ

近世ノ化學者中ニ於テ最モ其勞ヲ費シ其功ヲ顯シタル「サー」ハムフリーデヴヰハ一千七百七十八年十二月十七日英國コルンウォールノペンザンスニ生レタリ其父母ハ素ヨリ卑賤ナリシモ子女ノ教育ヲ重シタレバデヴヰハペンザンズニ在テ暫ク學問ヲ勉メ後又トルロノ語學校ニ入テ少シク學業ヲ修ム一千七百九十五年ニ至リ其國市街ノ藥店ニ入テ製藥ノ業ヲ學ブ此頃既ニ父ハ死シテ居ラズ母ハ家計ノ困難ニ迫リ爲メニ自ラ婦女子ノ飾髮具帽子等ヲ製シテ之レヲ鬻キ辛フシテ一家ノ口ヲ糊セリ

デヴヰハガ幼時學業ノ履歷ハ詳ニ之ヲ知り難シト雖其藥店ニ在リシ間職業ノ暇ヲ竊ミテ常ニ理化學ヲ研究セリ其智慧ノ秀テタル當時之ニ並ブ者ナカリキ當時ギツデヰハギルホルドナル學者アリ偶々デヴヰハガ化學ニ熱心ニシテ且

ツ秀才ナルコトヲプリストルノ大醫ベッウス氏ニ告クルニ氏直チニ之ヲ聘シテ藥局ノ取締トナス時ニ一千七百九十八年十月ノ頃ニシテデヴヰハ齡未ダ二十ニ充タズ

デヴヰハペンザンスノ偏地ヲ去テプリストルノ都會ニ遷リタレバ恰モ新世界ニ到リタル如キ感覺ヲナセリ爾後其常ニ熱心スル所ノ理化學ヲ修メタル多クノ人ト交際スルコトヲ得又々適當ノ器械ヲ備フルコトヲ得テ種々ノ發明ヲナシ終ニ其名ヲ四方ニ輝カセリ斯テデヴヰハ製藥ノ事業ヲ廢スルハ敢テ其欲スル所ニアラザリシモ已ムコトヲ得ズニ遂ニ藥局取締ヲ辭シ專ラ化學一科ニ從事セリ其頃デヴヰハ彼ノ毒瓦斯ナル酸化窒素炭化水素及炭酸瓦斯等ヲ自ラ己レノ肺臟内ニ吸入シ其性質ノ如何ヲ精密ニ試験セリ是ニ於テデヴヰハ名愈顯ル當時ロンドン府ニ於テローヤルインスチチュウシヨウ(學會)ノ設立アルニ會スデヴヰハ抽セラレテ之ガ化學權講師兼化學局長ニ任セララル時ニ一千八百〇一年ノ初ナリ

デヴヰハ其職ニ就クヤ月ヲ經ズニテ化學大講師ニ昇進セリデヴヰハ終身其職ニ在リ其講義ヲ聽キシ者ハ獨リ理化學士ノミナラズ市中ノ貴紳及雅人其他上

流ノ婦人等其數甚ダ多ク就中電氣ノ試驗アルゴトニハ甚ダ盛ニシテ滿場ノ聽衆拍手喝采シ婦人ノ如キハ甚ダ大ニ驚愕シ或ハ恐懼戰慄スルモノ少ラザリキ斯テデヴ非一甚ダ人望ヲ得貴族高位モ皆之ヲ尊敬セザル者ナク衆人皆其好意ヲ顯サント欲シテ屢デヴ非一ヲ饗應シ或ハ之ニ種々ノ贈物ヲナセリ人皆以爲ラク宴會ニ於テデヴ非一ノ演舌ナキ時ハ未ダ其敬ヲ盡セルモノニアラズト一千八百〇三年デヴ非一農學講義ヲ始メ數年ニシテ終ル後其講案ヲ編シテ一部トナシ之ヲ世ニ公ニス其書ハ當時最モ裨益アルモノナリシト云フ同年デヴ非一「ローヤルソサイエチー」ノ社友トナル是ヨリ一千八百〇七年ニ至ルマデ聽衆漸々増加シ又理化學上數多ノ新發明ヲナセリ其最モ著シキモノハ濕電氣ノ發明ナリ

古來濕電氣ノ論甚ダ紛々トシテ一定セズデヴ非一ニ至リ初メテ其理ヲ明ニシ殆ンド歐羅巴全州學士ノ贊成ヲ得タリ斯テデヴ非一ハ當時英佛互ニ戰端ヲ開カントスルノ際ニモ拘ラズ佛人ノ頌譽ヲ得テ佛國ノ學會ヨリ三千「フラン」(「金八十錢」)ノ賞牌ヲ受領セリ
 デヴ非一濕電ノ通則ヲ發明シテヨリ其結果ノ試驗ヲ爲セシニ「剝篤亞斯」及「曹達」

ハ即チ金屬質ノ鹽基ヲ有スルコト瞭然トシテ分明セリ其試驗ノ順序タル先ツ流電氣ノ動作スル時之ニ「ボツター」スヲ投入シタルニ終ニ之ヲ分解スルノ功ヲ奏セリデヴ非一之レガ分子ヲ見ルニ恰モ水銀ノ質ノ如シ而シテ其分子現出スルヤ否ヤ忽チ炎ヤタル火焰ヲ發シテ燃燼セリ其質甚ダ酸素ト結合シ易キヲ以テ之ヲ掌裏ニ集ムルノ手段ニ於テデヴ非一甚ダ困難ヲ極メタリト雖百方試驗ノ未遂ニ其目的ヲ達セリ抑々其分子外面ノ狀恰モ白色ノ金屬ニ似タルモノニシテデヴ非一之ヲ「加倫謨」ト名ケタリ之ヲ水中ニ投入スレバ水忽チ烈シキ焰火ヲ發シテ分解シ即チ水中ノ酸素ト結合ス之ヲ冰塊ニ投ズレハ「ボタシアマ」自ラ紫色ノ焰火ヲ發シテ之ヲ燃シ冰塊ニ深孔ヲ生ズ其孔中含ム所ノモノハ「ボタシアマ」ノ溶解物ニテ即チ金屬質ノ酸化物ナリ是ニ於テデヴ非一更ニ「曹達」其他ノ「亞爾加里」(化學)ヲ試驗スルニ皆同様ノ美結果ヲ現セリ

爾後デヴ非一化學上數多ノ試驗ヲ施セシガ就中「格魯林」(元素)ノ試驗ノ如キハ其最モ美結果ヲ得タルモノニシテ其質即チ單元瓦斯ナルコトヲ發明セリ一千八百十年及一千八百十一年ニ於テデヴ非一聘セラレテ「ダブリン」ニ至リ化學其他ノ學術ノ講義ヲナセリ一千八百十二年其著書「エレメンツ、オブ、ケミカル、フ」

ツフ非一ヲ出版シ大ニ世ノ喝采ヲ博セリ其年アブリースヲ娶テ婦トナス此婦
 固ヨリ富家ニ生レタルヲ以テ其嫁スルニ及ビ金錢及物具等ヲ携フルコト甚ダ
 夥シ其祝婚ノ前日デヅ非一勳位ニ叙セラレタリ
 嗚呼デヅ非一一時ニ富貴尊榮ヲ逞シ四周人民ノ讚譽諂媚ヲ得タルヲ以テ自ラ
 醉フテ慢心ヲ生シ是ニ至テ其道德上ノ過失ヲ顯バシ名譽ヲ損ズルコト少カラ
 ザリキ一千八百十三年ナポレオンボナパーノ許可ヲ得テ佛國ノ内地ヲ旅行シ
 首府パリスニ至レリ時ニ大ニ佛國人民ノ尊敬ヲ受ケ就中理學社會ノ頌讚ヲ得
 タリ然ルニデヅ非一反テ意氣揚々トシテ自ラ誇リ一身ノ榮譽ヲ損ゼシノミナ
 ラズ英國理學社會ノ体面ヲ汚セリ是レ學術ノミヲ修メテ道德ニ注意セザル者
 ノ陥リ易キ過ト云フベシ謹マザル可ケンヤ
 デヅ非一進テフロレンス羅馬子ブルス等ニ往キヴニスヅ非ウス(火山)ヲ實驗セ
 リ其未ダ英國ニ歸ラザル前ニ當テ專ラ意ヲ炭坑中ノ瓦斯ニ注キ其性質ヲ試驗
 シ暫時ノ間ニ四種ノ燈器ヲ發明シ瓦斯ヲシテ之ニ觸レシムルモ決シテ爆裂ノ
 恐ナカラシメタリ
 一千八百十八年デヅ非一英國ニ歸リローヤルツサイエチー(ノ)社長ニ撰バル爾

後ノ履歷ハ此ニ記スベキコト多シト雖今之ヲ略シテ只其至要ナル一條ヲ載ス
 即チ海水ノ銅ニ對スル蝕力是レナリ一千八百二十三年デヅ非一初メテ其試驗
 ヲナシ終ニ其理ヲ究メタリ然レ而之ヲ蝕入セシメザル方法ニ至テハ到底其發
 明ヲナスコト能ハザリキ斯テデヅ非一身體漸ク衰へ之ヲ治セント欲シ一千八
 百二十八年諸國漫遊ノ際暫時羅馬ニ留マリ其後デヅ非一ハニ至リ卒倒ノ症ニ罹
 テ俄カニ歿セリ于時一千八百二十九年五月三十日ナリシ

第二十八章 マイケールアラデー

最モ困難ナル事情ニ會シ非常ノ勉勵及忍耐ヲ以テ其志ヲ達シ當ニ青年ノ模範
 トナスベキ者ハマイケールアラデーニ若ク者ナシ
 アアラデーノ家世々英國ヨークシヤニ在リシガデニームスアラデーニ至リ
 首府ロンドンニ轉居シ鍛冶ノ業ヲ營メリマイケールハデニームスノ第三子ニシ
 テ一千七百九十一年九月二十二日サルリーノニウリントンニ生レタリ一千
 七百九十六年ノ頃デニームスアラデー再ビ居ヲ遷シ府内マンチエストル(ス)
 クニエーアニ住居セリマイケール少シク長スルニ至リテ父母之ヲ教育セント欲
 シ近傍ノ小學校ニ入レテ讀方習字算術ヲ修メシム是レマイケールガ生涯中受

ケシ所ノ學校教育ノ全科ニシテ其餘ハ皆自力ノ獨學ニ由テ種々ノ學科ヲ修メ
タリ

父ヂエームスハ著名ナル道德ノ士ニシテ篤ク上帝ヲ尊信シ深ク心術ヲ鍛煉シ
常ニ沉重嚴格ヲ旨トセリマイケール自ラ父ノ善行ニ薰陶セラレ幼年ノ時ヨリ
基督教會ニ加入シ深ク修身ノ道ニ注意セリ一千八百〇四年齡十三ノ時ニ當リ
自己ノ生活ハ自己ノ勞ニ依テ爲サマルベガラザルコトヲ悟リ自ラ其地ノ或ル
新聞社長ニ請ヒ一年ヲ期シテ其社ニ役セラレ日々新聞紙ノ配達者ト爲リテ諸
方ニ奔走セリ此事務タルヤ日曜月曜ノ差別ナク一日モ休業スベキニアラザル
ヲ以テマイケールノ勞苦特ニ甚ダシカリキマイケール篤ク基督教ヲ信シ安息
日ヲ守ラント欲スル甚ダ切ニシテ説教聽聞ノ樂及上帝禮拜ノ典ヲ全フセント
欲シ日曜日ゴトニハ成ルベク速ニ業ヲ終へ然ル後禮拜堂ニ詣レリ讀者宜シク
マイケールガ事情ヲ察シ自ラ感覺スル所アレ

マイケールアラデーハ快樂困苦兩ナガラ之ヲ一身ニ適用シツ、其奉事ノ期
ヲ終へタリ是ニ於テ復七年ヲ期シ之ニ事ヘンコトヲ約シ専心一思日々師ニ從
テ釘書ノ術ヲ學ブ其暇ノ時間ハ必ス之ヲ讀書ニ用ヒ終ニ志ヲ達シテ有名ノ人

トナレリ

アラデー曰ク余曾テ師ニ事ヘシ時學術ニ關スル種々ノ書ヲ得テ之ヲ讀ムコ
トヲ樂メリ特ニマルセツト氏ノ化學書及英國百科全書中ノ電氣論ヲ讀ムニ至
テ其書ヲ愛スルコト甚シカリシ余化學ヲ研究スルニ當リ自ラ多少ノ金錢ヲ費
シ最モ簡便ノ器械ヲ用ヒテ其試驗ヲナセリ又電氣ノ試驗ヲナサント欲スルニ
當リ先ヅ硝子ノ小壘ヲ用ヒ後チ漸々各種ノ試驗器ヲ求メ得タリアラデーガ
感覺ノ鋭敏ナル其讀ム所ノ書籍盡ク實地ノ用益ヲナセリ其最モ著シキモノハ
「オンゼ、マインド」ナル一書冊ナリキ加之其聽聞セシ所ノ演說モ亦大ニ之ヲ益セ
リ

一日市街奔走ノ際アラデードルセツトストリートノ五十三番地ナルテタム氏
ノ宅ニ於テ午後八時テタム氏物理學ノ演說會ヲ開クト廣告アルヲ見ルヤ煩リ
ニ之ヲ聽ント欲スルノ念起レリト雖之ヲ障礙スルモノニツアリ第一ニハアラ
デーノ事務日々午後八時ヲ過ギザレバ終ラサル事第二ニハ其身貧ニシテ金
錢ノ蓄ナキ事ナリ蓋シ其演說ハ每會一シルリングヲ出金セザレバ聽聞ヲ許サ
ズアラデー甚ダ之ヲ憂フ時ニ主人其志ノ篤キヲ嘉ミシ演說アルゴトニハ必

ズ外出ヲ許シタリ又聽聞料ノ如キハ其兄ロベルト之ヲ給セリ斯テアラデー
一千八百十年乃至十一年ノ間ニ於テ十二三會許出席シタリ之ガ爲メ其腦中學
術上ノ知識ヲ増セシノミナラズ學問ヲ好ミ志ヲ同シクスル所ノ知己朋友ヲ増
加シ又演說者テタム氏ニ親シク交際スルコトヲ得タリ斯テ此等ノ人々ヨリ種
々ノ書籍ヲ借リテ之ヲ讀ミ益々學業ヲ勤メタリ

當時フアラデー自ラ備忘録ヲ製シテ其聞見セシ所ノ肝要ナルモノハ悉ク之ヲ
記録セリフアラデー曰ク一千八百十二年余師匠ノ家ニ奉事セシ頃數々其家ニ
來リシ客人中「ローヤルインスチチユーシヨ」ノ社員ナルダンスト云ヘル人ア
リ余此人ノ周旋ヲ以テ當地ニ住居セルデヴ非一君ノ演說ヲ聞キシコト都テ四
度ナリシガ毎度之ヲ備忘録ニ略記シ然ル後余自ラ之ニ繪圖ヲ交ヘテ詳細ニ說
明シタリ云々

一千八百十二年十月フアラデー定約ノ年期已ニ滿チ暫時デラローナル者ト社
ヲ結ビ書籍束結ノ業ヲ營メリデラロー甚ダ性急ノ人ニシテフアラデー之ト久
シク交ハルコトヲ好マス且ツ素ヨリ學事熱心ノ人ナルヲ以テ務メテ學業ニ關
スル事業ニ就クコトヲ希望シ終ニ其意ヲデヴ非一ニ通ジタリデヴ非一ハフア

ラデーガ學力ノ秀ダルト性質ノ朴直ナルトニ感シ之ニ「ローヤルインスチチ
ユーシヨ」化學局ノ補助ヲ命シ局中ノ二室ヲ共用ニ供シ每週金貳拾五シルリ
ング(六圓)ヲ給與セリフアラデー其職ニ就キシハ一千八百十三年三月ナリシガ
夫ヨリ漸々昇進シテ終ニ「ローヤルインスチチユーシヨ」ノ長ト爲リ其學力ノ
如キモ當時ノ有名ナル諸學士ニ劣ラザルニ至レリ實ニ此人ハ貧賤ナル少年ノ
模範ニシテ讀者自ラ感覺スル所ナカル可ケンヤ一千八百六十七年八月二十四
日フアラデー遂ニ卒セリ

第二十九章 ホレスグロレー

ホレスグロレーハザキヤスグロレーノ子ナリザキヤスハ米國ニウハムブレヤ
ノアムヘルストニ住セシ至貧ノ農夫ニシテ其祖先ハ英人ノ移テ米國ニ居住セ
シ者ナリザキヤス愛蘭人ノ女マリールホルヲ娶テ三子ヲ産ムホレスハ即チ
其末子ニシテ一千八百十一年二月三日ニ誕生セリ

世ノ人物古今多クハ母ノ教育ト智慧トニ依テ顯ハル、モノナルガホレスノ如
キモ之ニ外ナラス母マリール頗ブル史學ニ通シ詩文ヲ能セリホレス母ノ思想ヲ
繼キ幼少ノ時ヨリ學ヲ好ミ一多シ其眼ニ觸ル、モノハ何書ト雖悉ク之ヲ讀ム

ヲ以テ樂ト爲セリホレス年尙少カリシモ軀幹魁梧筋力强壯ナリケレバ遂ニ農
 業ニ従事シ其暇常ニ讀書ヲ勉メタリ而シテ其記憶ノ力甚ダ強キノミナラズ思考
 ノ力亦甚タ大ナルヲ以テ其讀ム所ノ事悉ク己レヲ益スルノ具トナレリ
 ホレスグリレ一十歳ノ時父家産ヲ破リ憐ムベキノ状態ニ陥リシニ由リ終ニ居
 ヲザオルモンノウエストヘーヴンニ移セリグリレ一此地ニ在リテ薪ヲ割リ
 草ヲ採ル等ノ勞働ヲナシテ一家ノ生計ヲ扶助セリ冬ニ於テハ戶外ノ勞働甚ダ
 堪ニ難キヲ以テ其間學校ニ於テ書ヲ學ベリ然レモ後ニ至リ其師諭シテ之ヲ家
 ニ歸シ其妹ヲ訓導セシムホレス既ニ成長シテ將ニ定業ニ就カントスルニ當リ
 頻リニ父ニ請フテ往テ印刷ノ事業ヲ學バント欲ス父ハホレスガ生來書ヲ好メ
 ルヲ察シ遂ニ其求ムル所ニ應ゼリ是レ蓋シ印刷ノ業ハ文書ニ關係多キヲ以テ
 ナリト云フホレス父ノ許諾ヲ得テ甚ダ悦ビ直チニ家ヲ發シ凡四五里ヲ隔ツル
 イーストボルトノ或ル印刷所ニ至リ己レノ志ヲ述ベ即チ其門ニ入テ印刷ノ業
 ヲ學ブ時ニ齡十四歳ノ頃ナリ
 グリレ一先ヅ植字ノ方法ヲ學ビシガ性慧敏ナルヲ以テ初メテ業ヲ受ルノ日ヨ
 リ殆ンド師ノ教示ヲ用ヒスシテ容易ク活字ヲ植ルコトヲ能セリ既ニシテ尙又

一日ノ練習ヲ歷タリシガ其植字ニ習熟スルコト他人ノ決シテ及バザル所トナ
 レリ初メグリレ一ガ此處ニ來リシ頃ハ其容貌ノ醜ナルト言語ノ寡キトヲ嘲弄
 スル者少カラザリシモグリレ一ハ毫モ之ニ關セズ只管其業務ニ勉勵シ漸ヤク
 衆人ノ愛敬ヲ受ルニ至レリ斯テ年々金四十弗ト食トヲ給セラレ四年ノ間安穩
 ニ經過セシモ一千八百三十年ノ夏ニ至リテ印刷社ノ破産ニ際會セシヨリ終ニ
 非常ノ災難ニ遇ヘリ此時グリレ一齡既ニ十有九是ヨリ先キグリレ一一日偶然
 地ニ倒レテ足ヲ傷ヅク今此不幸ニ際シ身ノ寄スベキノ所ヲ索ムルニ當リテ歩
 意ノ如クナルヲ得ズシテ特ニ困難ヲ極メタリ是ニ於テグリレ一意ヲ決シ一タ
 ビ古郷ニ歸リテ父母ニ對面センコトヲ企テタリ
 然ルニ父母ハ曾テグリレ一ガ家ヲ出デシヨリ久シカラスシテ居ヲペンシルヴ
 アニヤニ轉シタルヲ以テ旅程モ一層遠キヲ加ヘ且ツ其地ニ至ランニハ先ヅ不
 愉快ナル舟行ヲ終ヘ然ル後チ凡ソ四十里ノ長キ陸路ヲ徒行セザル可ラザルヲ
 以テ更ニ其困難ヲ増シタリ斯テグリレ一手ニ杖ト荷物トヲ携ヘ些少ノ金ヲ懷
 ニシテ徐々其地ヲ出立シ十二日ノ後ペンシルヴァニヤナル父母ノ茅屋ニ着セ
 リ是ヨリ暫時母ノ介抱ヲ受ケテ其痛傷ヲ治療シ稍々平愈ニ赴クニ至リ四周ノ

景色ヲ眺メテ數週ノ間樂シミ居リシモ終ニ全ク治スルコトヲ得ズシテ再々ビ
 父母ノ許ヲ去レリ斯テ此ヨリ八里ヲ距ツル所ノ市街ヂエームストンニ遊ヒ或
 ル印刷所ノ雇ヲ受ケシモ充分其勞ニ酬フル者ナク且ツ傷足ハ益々痛苦ヲ覺ユ
 ルノミナラズ漸々腫レタルヲ以テ已ムヲ得ズ復々父母ノ家ニ歸レリ時ニグリ
 レー會々四肢ノ疾ヲ治スルノ妙ヲ得タル有名ナル一醫アリト聞キ直チニ其醫
 ニ就キテ專ラ治療ヲ加ヘタレバ果シテ其足全ク治セリ
 是ニ於テグリレーニウヨルク州ノロダイニ往キ雇ヲ受シモ雇主財政ノ困難ニ
 陥リ其給金ヲ辨ズルコト能ハザリシヲ以テ此ニ居ルコト五六週間ニシテ復々
 杖ト荷物ヲ提グテ他所ニ走レリ既ニシテグリレー長キ旅路ヲ徒行スルノ後
 イリ湖上ノイリ市街ニ達ス此地ニイリ新報社ト名ツクル新聞社アリグリレー
 直チニ社長ステリット氏ニ面會シ自ラ職工ニ用ヒラレンコトヲ請ヘリ氏ハグ
 リレーノ醜ナル容貌ヲ見テ甚ダ驚愕セリト雖試ミニ其求ニ從テ之ヲ使役セリ
 グリレー容貌ノ醜ナルニモ拘ハラズ才能大ニ秀テ、其專ラ業トスル所ニ熟シ
 日々勉勵シテ主人テルリットノ意ニ適シ遂ニ撰マレテ通常ノ役員ニ用ヒラレ
 月給金二弗ヲ得又別ニ住食ヲ給セラレタリグリレー職務ノ側ヲ常ニ書ヲ讀ミ

知識ヲ蓄ヘ須臾モ徒然ニ時間ヲ耗費スルコトナカリキ斯ノ如クニシテ凡ソ七
 月間ヲ經過スル後其雇ヲ辭シテ此ヲ去レリ是ヨリ先キグリレー深ク節儉ヲ行
 ヒ七月間ニ費用セシ所ノ金額僅カニ六弗ニ過キズ而シテ金拾五弗ヲ旅行ノ費用
 ニ貯ヘ餘ハ悉ク父ニ贈リテ一家ノ生計ヲ補助セリ

グリレー是ヨリ意ヲ決シテニウヨルクニ赴カント欲シ復々杖ト荷物トヲ提ゲ
 テ此ヲ去リ海程陸路ヲ跋涉シ一千八百三十一年八月十八日ノ朝ニウヨルクニ
 到着セリ抑々ニウヨルクノ如キ繁盛ノ都會ハロンドンニ異ナル所ナク其創設
 ノ初多クハ至貧ニシテ豪剛ナル人々ガ非常ノ勉勵ト耐忍トヲ以テ遂ニ富ヲ壘
 子財ヲ蓄ヘ由テ以テ衢街ノ繁盛ヲ致シタルモノナリ然ルニグリレーノ如キモ
 亦々其一人ニシテ初メ此都ニ到着セシ時ハ唯金拾弗ノ外何ノ有スルモノナク
 又一人ノ知己ナク一人ノ朋友ナク一封ノ依頼狀ヲモ携フルコトナク背ニ小サ
 キ一包ノ衣服ヲ擔ヒツ、至極貧賤ナル態ヲ顯セリ然レモ其聰慧ノ才熾盛ノ精
 神ノ如キ若シ此人ヲ用フル者アラバ必ズ身ヲ立ルニ充分ナリト雖屢々容貌ノ
 醜ナルニ礙ケラレ適當ノ位置ヲ得ルノ好機會ヲ失ヘリ實ニグリレーガ醜ナル
 容貌着服穿靴ノ風姿恰モ乞兒ノ如クニシテ之ヲ見ルモノ皆ナ驚カザル者ナク

最初ヨリ之ヲ尊敬スルモノ甚ダ稀ナリキ惟フニグリレーガスク人ニ尊敬セラレザリシハ全ク自ラ作セル災ニシテ即チ其自身ニ對セル義務ヲ盡サマルニ原因セザルハナシ

グリレーニウヨルクニ來ルヤ全ク初回ニシテ更ニ身ヲ托スベキ處ナク東西奔走辛フシテ一ノ宿屋ニ到レリ此即チマツゴルリット名ツクル愛蘭人ノ家ニシテ酒類ヲ賣リ兼テ宿泊ヲナスベキ粗ナル一小屋ナリシガグリレー此ニ宿セリグリレー此時ニ當テ其醜陋ナル容態ノ大ニ貴人ニ面會スルノ障礙ヲナスヲ悟リ直チニ若干ノ金ヲ投シテ尋常ノ衣服ヲ購ヒ少シク容貌ヲ改メタリ其日朝飯ヲ喫シ了リテ直チニ市街ヲ奔走シ諸所ノ印刷館ニ往テ其仕役ヲ求ム然レモ其日ハ空シク經過シ心憾ミ體疲レテ復タビ宿屋ニ歸レリ此夜ハ此ニ寐ヲ熟睡シテ其疲ヲ息メ翌日再ビ奔走セシモ復タ同シク寸功ヲ奏スルコト能ハザリキ其翌日ハ即チ日曜日ニシテ各處皆ナ業ヲ休ミタルヲ以テグリレー其日ハ眞神堂ニ往キ眞神ノ道ヲ聽キ或ハ眞神ヲ禮拜スル等ノ事ヲ以テ終日其心ヲ養ヘリ同日午後グリレーノ爲メニ甚ダ喜バンキ一事起レリグリレー殆ンド手ノ舞ヒ足ノ蹶ムヲ知ラザリキ是レ他ニ非ズマツゴルリット親シキ愛蘭人靴造職工ニ

其家ニ來リグリレーヲ訪ヒ談話時ヲ遷シ遂ニ一身上ノ事ニ及ビシガ此人グリレーガ精神ニ感シ之ニ告ケテ曰ク余ハ印刷師ノ傭工ノ往來スル家ニ住居スル者ナリ近頃チニタムストリート(名街)ノ印刷所ニ職工ヲ要スルト聞ケリ君盍ソ彼ニ往カザルト是ニ於テグリレー翌朝夙ニ起キ午前五時ノ頃彼處ニ達セシモ門戸未ダ開カズ門外ノ石段ニ座シテ開門ノ時ヲ待テリ暫時ノ後一傭工來リシガ尙時刻ノ早キニ過ルヲ以テグリレーノ側ニ坐シ兩人互ニ談話ヲ始メタリグリレー其好意ヲ謝スルニ及ヒテ傭工亦大ニ悦ビグリレーガ爲メニ充分盡力セシコトヲ陳ベ印刷長ノ出勤スルヤ否ヤ直チニ之ヲ紹介セリ幸ナル哉當時役員ノ不足ナル際ナルヲ以テ印刷長忽チ之ヲ諾シグリレーヲ雇ヒテ植字ノ事ヲ命セリ其植字ハ即チ新約聖書ナリシガグリレー終日黙々トシテ己レノ務ヲ勵ミ他人ヲシテ大ニ驚駭セシメタリ印刷長亦タグリレーガ業務ノ速ナルト植字ニ習熟セルハ決シテ他人ノ及ブ所ニアラザルヲ見テ更ニ驚駭ヲ加ヘタリグリレー數月ノ間續テ聖書ノ植字ニ從事シ每週給金凡ソ六弗ヲ得タリ又グリレーノ爲メ一大幸福ハ該印刷局ニ於テ傭人ノ勤惰ニ從ヒ給金ノ多寡ヲ

リシ事ナリグリレイノ如キハ毎朝六時ニ業務ヲ始メ夜九時ニ至テ之ヲ止メタ
 レバ始ムルニ最モ早ク止ムルニ最モ晚キ傭人ナリキ夏ニ於テハグリレイノ外
 一人ノ朝飯前ニ業務ヲ勤ムル者アルヲ見ズ又グリレイハ他ノ職工チヤウニ在テ遊
 戯ヲ爲シタルノ際モ獨リ工場ニ在テ植字ヲ勉勵セリ是ニ於テ漸々人ノ愛敬ヲ
 受ケ獨立ノ目的已ニ立チタレバグリレイ宿所ヲ轉シ少シク其體裁ヲ改メタリ
 當時チニエタムストリートノ印刷所衰頽ニ赴キタレバグリレイ直ニ「イーヴエニ
 ングボースト」(新聞紙)ノ植字手ト爲リ後又商業新誌ノ植字手ト爲リテ數日ノ間
 勉勵セリ其後「アムレット」ト名クル雜誌ヲ負擔セリ夫ヨリ「スピリット」オフ「タイ
 ムスト」號スル新聞會社ニ雇ハレ自ラ其社ニ少許ノ金ヲ寄附セシコト數々ナリ
 シ斯テグリレイハ終始十四ヶ月間新聞雜誌等ノ植字ヲ業トシテ月日ヲ送リシ
 後其業稍衰ヘタレバ一旦ニウハムフシヤニ至リテ親戚ノ安否ヲ問此ニ滞在ス
 ルコト數ヶ月ニシテ再ビニウヨルグニ歸リヂエーエスレトフ非ルト氏ニ雇
 ハレ植字ニ從事セリ是時モ亦勞働ノ多寡ニ從テ給料ノ差等アリケレバグリレ
 ー屢々他人ニ増倍セル給金ヲ得シコトアリスノ如クニシテ傍ヲ貯蓄ヲ爲シ漸
 々資本ヲ積テ自ラ一ノ印刷所ヲ開キ身體ノ勞働ヲ止メテ精神ヲ勞スルノ事業

ヲオサンコトヲ決シ從前人ニ使役セラレタルグリレイ今俄ニ變シテ人ヲ使役
 スルノグリレイトナレリ

抑人ノ幸福ハ預メ之ヲ知ルニ由ナク其來ルヤ奇ニシテ妙ナリ曾テセツプア
 ードト云ヘル學士ノ發起ニ係リ廉價ノ日々新聞紙ヲ發兌セントスルノ舉アリ氏
 其ノ企ヲ實施スルニ當リ「スピリット」オフ「マイム」(新聞紙)ノ持主ナルストリー氏ニ
 謀リ之ヲ誘テ借ニ其業ニ從事セシメタリストリー氏ハ曾テグリレイガ印刷ノ
 術及文事ニ秀デタルコトヲ聞キタルコトアルヲ以テ之ヲ其社中ニ加入セシメ
 ナバ必ズ美功ヲ奏スベキコトヲ察シ即チ之ヲ其社ニ加入セシム是ニ於テグリ
 レイストリー氏ト力ヲ協セ確乎タル一新聞社ヲ開設スルコトヲ得タリ其後久
 シカラズシテストリー氏不圖溺死ノ災難ニ罹リ奈何トモスベキニアラザレバ
 グリレイ更ニウニエンチニストル氏ヲ聘シテストリー氏ノ後ヲ續ガシメ是ヨリ
 「グリレイ會社」ト改稱シ倍々印刷ノ事業ヲ盛大ニセリ一千八百三十四年ニウヨ
 ルカルト題セル每週新報ヲ發兌シグリレイ自ラ之ガ編輯長トナレリ其新聞終
 ニ損失ヲ生シタルモグリレイノ名譽ハ世ニ轟キ熟練ナル記者ト評セラレ且ツ
 其損失ノ如キモ購讀者ノ寡キニ原因シタルニ非ス全ク當時米國一般ノ不景氣

ニ由テ數多購讀者ガ其新聞紙料ヲ辨納セザルニ起因セリ斯テグリレー代ルヤ
 各種ノ新聞紙編輯者ニ用ヒラレ一千八百四十一年ニ至テ復々自ラニウヨル
 クトリヒニト題セル新聞紙ヲ發兌セリ時ニ有名ナル事務家マックエルラ
 ツナル者グリレーノ輔佐トナリ漸々之ヲ盛大ニ至ラシメタリ此新聞紙ハ毎日
 發兌ニシテ讀者之レガ文章ノ美ヲ頌讚セザルモノ無カリシ此ノ如クグリレー
 名益々顯ハルハノ央其命終レリ于時一千八百七十二年十一月二十九日ト云フ

第三十章 雜錄

以上錄スル所ノ數十人ノ履歷ハ皆ナ後人ノ摸範トナスベキモノニシテ特ニコ
 ベルニカス、コロンブスノ耐忍フランクリンフェルグツンラッキングトングツフ
 オルドドッドスレー等ノ勉強ホワルトノ仁惠ウヰルリヤムヂョーンス及モル
 レーノ勤學ワシントンノ愛國ワット、アークライト、ステヴンソンノ發明ノ如キ
 ハ最モ頌スベク且ツ則ルベキノ龜鑑ナリ尙其等ノ人物ニ劣ラズ耐忍勉強及天
 祐ニ因テ微々幽暗ノ中ヨリ起テ歷々顯明ノ地位ニ達セシ者舉テ數フ可ラス今
 其最モ著名ナル人々ノ履歷ニ就テ之ヲ簡單ニ記スルコト左ノ如シ

○抑、パブリアスサイラス、及エビクテマスハ兩ナガラ古ノ高名ナル人物ナルガ

其身ハ元ト人ノ奴隸ナリキ

○羅馬上古ノ有名ナル戯作者シーシアススタチウスモ元ト奴隸ノ身ナリシモ
 其才藝ノ秀デタリシヲ以テ有名ノ人トナレリ

○希臘ノ古賢プロタゴラスハ初メ尋常ノ擔夫ヨリ起レリ

○古賢クリンテスハ元ト水ヲ擔ヒ荷物ヲ運ビテ生計ヲ營メリ

○最モ有名ナル古ノ辨士デモステネスハ雅典ノ刀匠ノ子ナリシガ幼少ノ時父
 母ニ別レテ孤トナリ非常ノ耐忍ト勤勞トヲ以テ終ニ雷名ヲ天下ニ轟カスニ至
 レリ

○ゴツチンゲンノ大學士ヘーン氏ハ極貧ナル織工ノ子ナリシガ數年ノ間貧困
 ト借ニ競ヒ大ニ奮勵シ終ニ無双ノ尊榮ヲ得ルニ至レリ

○第十六世紀ニ起リシ學者ノ一人ナルバンドクシンハ元ト製靴工ノ子ニシテ
 多年ノ間自身モ同ジキ職業ヲナセリ

○以太利國ノ有名ナル著述者ゲルリハ元ト裁縫ヲ以テ職業トナセシガ名ヲ江
 湖ニ顯ハセシ後ト雖其業ヲ忘レズ講義中數々裁縫ノ事ヲ述タリ

○カントルポリーノ高僧アブボットハ第十六世紀ニ生レ國王チャールス第一

世ノ意見ニ對シ種々論辨シタルヲ以テ世ニ顯ハレシガ其人ハギルフォールドノ一織布匠ノ子ナリキ

○想像之快樂(書物)ノ著述者アケンサイドハカンスルアボン、タインノ屠牛者ノ子ナリシナリ

○佛蘭西ノ有名ナル數學士デアレムバーハ乳兒ノ時ニ於テ父母ニ棄ラレ或ル寺院ノ門前ニ在リシガ一貧婦之ヲ拾ヒテ養育セシガ遂ニ名ヲ揚ゲ生涯養母ノ大恩ヲ忘レザリキ

○有名ナル佛蘭西人アマヨットハ第十六世紀ノ人ナリシガ家貧ニシテ燈油蠟燭等ヲ買フノ資力無ク夜中新ヲ焚テ書ヲ讀ムノ光トナセリ而シテ父母ノ之ニ與フル所ノ食物ハ一週間ゴトニ僅カ一塊ノ麵包ノミナリキ

○一千七百九十六年ニ死セシ彼ノ有名ナルヂョルヂアンデルソンハ元ト傭工ノ身ナリシガ終ニアルキメテスノ書ヲ翻譯シ東印度會社事業一覽ヲ著セリ

○エデンボロ府高等學校ノ學長トナリ一千八百〇九年ニ物故セシ博士アダムハ甚ダ下賤ヨリ起リシ人ニシテ幼少ノ時エデンボロ府ニ遊學セシ頃ハ實ニ貧窮ヲ極メ北東ノ郊外ニ當テレスタルリッグニ在ル一家ノ陝隘ナル室内ニ止宿

シ宿料トシテ一週間ゴトニ金四ペンスヲ拂ヘリ其平素食フ所ノ食物ハ午飯ヲ除クノ外常ニ磨割麥ノ粥ニ止マリ少シク麥酒ヲ飲用セリ其午飯ヲ食ハント欲スルニ當テハ先ヅ自ラ最近ノ麵包店ニ行キ一塊ノ價一ペンニ一ノ麵包一個ヲ買ヒ天晴レシ日ニ於テハ必ズ公園地ニ往クノ途中之ヲ食ヘリ蓋シ公園地ハ市街ノ南方ニ接セリ天雨フル日ニ於テハ之ヲ宿屋ニ歸リ二階ノ梯ヲ登リツ、食セリ此ノ如クニシテ炭薪ノ費ヲ省キ火ヲ燃シテ身體ヲ温メ蠟燭ヲ以テ室ヲ輝カス等ノ事ニ於テ金錢ヲ費スガ如キハ決シテ爲サマリシ又身體寒ヲ覺ユル時ハ血液ヲ熱センガ爲メ故ニ運動シ夜學ハ毎ニ朋友又ハ他人ノ家ニ於テ之ヲ爲セリ一千八百六十一年其齡正ニ二十ナリシ時エデンボロ府ニ於テワットソン氏ガ設立セル施濟院ノ教頭トナレリ其後經典ニ關スル種々ノ書ヲ著シ之ヲ世ニ公ニセリ

○羅馬教皇アドリヤン第六世ハ至貧ヨリ起リテ最モ有名ノ人トナレリ幼少ノ時書ヲ讀ムベキ燈ヲ得ルニ由ナク道路又ハ寺院ノ常夜燈ニ寄テ數、勤學セリ其才能漸々顯ハル、ニ從ヒ教會ニ於テ著シキ位ヲ占メ終ニ昇進シテ法皇トナレ

- クロードロルレーンサルヴァトルロサ其他著明ナル畫工ハ幼少ノ時貧困ニ迫リ教育ヲ受ケシコトナカリシモ全ク己レノ勉勵ト才力トニ由テ斯ル人トハナレリ
- アストルト云ヘル古物學者ニシテ「文事之元起及進歩」ト題セル書籍ノ著述者ハ元トニードウード（英國官林ノ名）番人ノ子ナリキ
- 曾テ佛國ノ元帥トナリシオーグロイ青年ノ時ニ於テハ兵卒ノ一人ナリシ
- 近世ノ高名ナル彫像師デヨンベールコンハ元ト陶器製造所ニ使役セラレタル畫師ナリキ
- 博識ナル佛國ノ著書家ベールットハ同國ヒカルデーノニウウ井ルニ住居セシ一貧人ノ子ナリシガ自己ノ才藝ヲ琢磨シテ斯ル人トハナレリ
- 高名ナル海軍士官ベンボウハ最初商船ノ水夫ナリシ
- 女王マリーノ一代記ヲ著シタルベンゲル幼時ニ於テ甚ダ貧窮ナル一婦人ニシテ書ヲ購求スルノ金錢ニ乏シカリシヲ以テ其住居セルウ井ルウシヤト云ヘル小市街ニ於テ日々書肆ニ至リ扉ヨリ書ヲ窺ヒ讀メリ其精神甚ダ感ズベキヲ以テ後日他人ノ扶助ヲ得タリ

- 羅旬語ヲ以テ美麗ニ聖經ヲ繙譯シタルセバステヤンカスターオハドーフ井一ナ（佛國南西ノ地）ナル山地ニ住居セシ貧人ノ子ナリキ
- ウ井ンチエストールノ教會監督師ニ昇進シタリシ有名ナルブリドーハ元來至貧ノ家ニ生レシ者ナリシガ幼少ノ時オックスフォールドノ大學校ニ於テ給養方（マカナイ）ノ補助ヲ勤メ傍ヲ學問ノ端緒ヲ開ケリ
- 英國王チャールス二世ノ代ニ於テ按察司ノ職ヲ奉セシエドマンドサーインダルスハ元ト或ル法學士ノ下僕ナリシ
- 近世ノ最モ有名ナル詩家ノ一人ト稱セラレシ羅西亞人口モノソフハ初メ貧賤ナル漁者ヨリ起リタリ
- 有名ノベンヂョンソンハ數年ノ間坭匠ヲ以テ業トセリ然レドモ手ニ鍛（ユダ）ヲ持ツ間ニモ常ニ書籍ヲ懷ニセリ
- ハイデルボルクノ神學士パレンス氏ハ初メ靴匠ノ弟子トナリテ其業ヲ受ケタリ
- 日耳曼國ノハンスサースマ數年間製靴ヲ以テ世ヲ渡リシガ元來裁縫人ノ子ニシテ後有名ノ詩人ト爲リ博學ノ名ヲ得タリ

- 日耳曼國ノ詩人フォルトツハ元ト摘髮ヲ以テ業トセリ
- 和蘭國有名ノ畫家ルカスコル子リツハ家甚ダ貧ナリケレバ其妻子ヲ養ハンガ爲メニ他人ノ家ニ使役セラレシコトアリ
- ウ非ンケルマン幼少ノ時ハ貧困ニ迫リテ夜中詩ヲ吟シ歌ヲ誦シツ、街衢ニ歩キ多少ノ金錢ヲ得テ衣食ヲ買ヘリ
- ウルフガングムスキユルスト云ヘル日耳曼人モ亦タ同事ヲナシテ田舎ヲ巡歴シ家々ニ就キテ飲食ヲ乞ヘリ
- ウオルセストルノ牧師ニシテ其著書ヲ以テ名ヲ得タルアイザツリマツトツクスハ料理番ノ子ナリシナリ
- カリスルノ教頭ナリシアイザツクミル子ル及カムブリッヂノ數學博士ナリシルカシヤンハ皆ナ初メ織工ノ身ナリシ
- オツクスフォールドニ於テ曾テアラビヤ語ノ教師ヲ務メシホワイトモ元來織布ヲ以テ業トナセリ
- フレデレンキゼグレート(國王)ノ侍醫ナリシテマムハ元ト裁縫師ノ徒弟ナリシ

- 彼ノ高名ナルザヨンハンタルハ木匠ノ弟子ヨリ起リ世ニ顯レテ生理學者ト稱セラル、ニ至レリ
- ウ非ルリヤムケント及フランシスタウンハ元ト馬車塗師ノ弟子ナリシガ勉強ニ依テ景畫ノ名人トナレリ
- 有名ナルホガールハ銀工ノ職シキ職業ヲ以テ其履歴ヲ始メタリ
- 天下ニ其名ヲ著シタル數學者エドモンドストーンハ幼少ノ時或ル貴人ノ園内掃除ニ役セラレシ僕ナリシガ獨學ノ勉強ニ依テ斯ル人トハナレリ
- 蘇格蘭ノ史學家ブッチアナンハ其父母貧困ナリシニ因テ伯父某ニ身ヲ托シ佛國パリスニ遊學セシガ懶惰ニシテ容易ニ故郷ニ歸ルコト能ハズ已ムヲ得ズ蘇國ニ遣ハサルベキ佛軍ニ加入シテ漸ヤク歸國スルコトヲ得タリ其後種々ノ困苦ヲ經遂ニ漸ヤク世ニ著レタリ
- (母名物)ノ著作ナルセルヴァントハ初メ軍團ニ編入セラレ戰爭ニ因テ左手ヲ失ナヒアルザエルニ囚ヘラル、コト凡ソ五ヶ年間時ニ此著ノ一部分ヲ記セリ
- 以太利國ノ有名ナル土木師又數學家ナルギヨルダニハ元ト水兵ノ一人ナリ

- ビルミンハムノ高名ナル史學士ウヰルリヤムハットンハ幼少ノ時ハ貧窮ヲ極メシモ耐忍ニ依テ其學識ヲ積ミタリ
- 佛蘭西ノ有名ナル戲作家ヂヨリハ元ト加比(豆茶ナリ)店主ノ子ナリキ
- 蘭人エラスモスノ幼時ハ學資ニ乏シクシテ大ニ困苦セシガ終ニ碩學ノ名ヲ得タリ
- 佛國パリスノ最モ有名ナル時辰表製作者ブレグエットハ元ト瑞士國ニ生レシ一小兒ナリシガ種々ノ困難ヲ經歷シ耐忍勉強ヲ以テ終ニ是ノ如キノ人トハナレリ
- 蘇格蘭ノ詩人マイケールブルースハキンネスウードノ一村ニ生レシガ生來多病ニシテ貧乏ナルニモ拘ハラズ己ガ志ス所ノ業ヲ修ムルコトニ撓マザリキ
- 又同國ノ詩人バルンスハ幼年ノ頃ハ田ヲ耕シテ日月ヲ費ヤセリ
- 英國ロンドン府ニ住居セシ活字彫刻ヲ以テ名ヲ顯ハセシカスロンハ元ト銃身(鉄砲ナリ)ニ裝飾スルヲ以テ其職業トナセシガ一日一ノ印刷者其彫刻ノ精巧ナルヲ見直チニ勸メテ活字彫刻ノ業ヲ學バシメケレバ忽チ非常ニ上達セリ

- ル井第十四世ノ代ニ於テ耶蘇新教ノ保護者且ツ主張者ヲ以テ高名ナルカヴアリアーハ幼少ノ時麵包店ノ傭奴ナリシガ後國君ニ事ヘテ名ヲ顯ハセリ
- 世人ノ熟知セル學藝辭典ノ著者ナルイフレムチャムブルスハ元ト理學器械製造人ノ徒弟ナリシガ其時ヨリ辭典著作ノ業ヲ起シ算盤ノ裏面等ニ於テ其入用ノ文字ヲ記シ然ル後之ヲ書中ニ編入セシトゾ
- 愛蘭國ノ高名ナル訟師カルランハ至貧ノ家ニ生レ困苦ヲ忍ビテ大ニ勉強シ終ニ其志ヲ遂タリ
- 著名ナル小説ノ著作者ウヰルリヤムダヴエナントハ元トオックスフォールドノ旅宿營業者ナリシ
- 世ニ裨益少カラザル植物書ヲ著シ且ツロンドンニ於テクニアム會社ナルモノヲ創立シタルダエームスデイキソンハ元來植樹職ヲ以テ生活セシ人ナリ
- シップレツキ(書物ノ名)ノ著家ファルコネルハエデンボロ府ノ理髮人ノ子ナリシガ若年ノ時商業ニ從事シ種々ノ困苦ヲ經過シ遂ニ印度へ渡海ノ途中溺没セリ
- 耶蘇教クエーカル派ノ開祖ヂョルヂフォックスハ織布師ノ子ナリシガ自ラ

牧畜者ノ弟子トナリ羊ヲ牧セシガ其業固ヨリ寂寞ノ所ニ在リテ沈黙スルヨリ
他ナキヲ以テ自然ニ敬神ノ感覺ヲ發シ遂ニ此新教ヲ弘ムルニ至レリ

○耶蘇教浸禮宗派ノ高名ナル教師アンドリウフルハ人ノ頌讚ヲ得タル所
ノ書ヲ著ハセシコト一ナラザリシガ二十歳ニ至ルマデ農夫ノ事業ヲナセリト
云フ

○時辰表ノ褒賞トシテ巴利門ヨリ金二萬ポンド(凡我十萬圓)ヲ受領シタルヂヨ
ンハリツンハ元ト木匠ノ子ナリシガ其器械學ニ習熟セシハ全ク一己ノ獨學ナ
リシナリ

○アークノヂョアンハ英國人ノ手ヨリ佛國ヲ救ヒシ婦人ナリケルガ素ト貧賤
ノ父母ヨリ生レ弱キ時ハ羊ヲ養ヒ或ハ田舎旅館ノ馬丁等ヲ勤メテ糊口ノ業ト
ナセリ

○著シク文筆ニ達シ種々ノ書ヲ著シタル猶太人ダビッドレヅ非一ハ初メ造靴
ヲ業トシ次ニ帽子ヲ製シテ生計ヲ營ミシガ斯ル職業ノ暇ヲ偷ミテ學ヲ積ミタ
リ

○最モ名高キ佛國ノ大家ルーツーハ時計師ノ子ニシテ初メ彫刻師ノ弟子トナ

リシトキ其師ノ待遇甚ダ輕忽ナリシカバ之ヲ惡ミテ脱走セリ時ニ其齡未ダ十
六歳ニ滿ザリキルーツー一時方向ヲ失シ徒ニ日月ヲ經過セシガ其性穎敏ナル
ヲ以テ遂ニ天下ニ顯ハレ名ヲ海外ニ轟カスコトヲ得タリ

○和蘭國ノ名高キ船將ルイテルハ十一歳ヨリ船ニ乘リ水夫ノ業ヲ勤メタリ

○高名ナル英國ノ音樂者シールドハ唱歌師ノ子ナリシガ幼稚ノ時父母ニ離レ
一時船匠ノ弟子トナリシモ其天才固ヨリ音樂ニ長シタリシヲ以テ中途ニシテ
其方向ヲ音樂ニ變シ忽チ此ニ上達セリ

○近世ノ神學士且ツ主教ヂエレミーテールハ元來理髮人ノ子ナリキ
以上記載スル所ノ外尙記スベキモノ擧ゲテ算フ可ラズト雖今此ニ之ヲ略シ聊
カ讀者ニ陳スル所アラント欲ス

扱此書ニ載スル所ノ人物中或ハ吾等ガ現今其人ト同然ノ事業ヲ企テント欲ス
ト雖決シテ能ハザルモノアリ例ヘバアークライト及ステジソンノ發明ノ如
キハ吾等ガ復ビスルコト能ハザルモノナリ又ラッキングトンノ如ク古本ヲ賣
テ巨大ノ富ヲ積ム等ノ事ハ今日文明ノ世ニ於テハ到底爲ス可ラズ然レモ予ガ
此書ヲ作ルハ讀者ヲシテ昔時ノ人物ト全ク同一ノ事ヲ爲サシメント欲スルニ

由ルニ非ズ又其人々ノ精神ニ倣ヒテ耐忍勉強以テ世ノ榮譽尊敬ヲ得ルニ汲々
 マラシメント欲スルニ由ルニ非ズ只予ガ希望スル所ノ者ハ則チ讀者各々己レ
 ガ天賦ノ智慧才能ヲ琢磨シ専心共志ス所ニ從事シ自己ノ本分ヲ盡シテ以テ天
 意ノ在ル所ヲ成就セシメント欲スルニ在リ人若シ是ノ如キ精神ヲ以テ耐忍勉
 強屈撓スルコト無クンバ必ズ遂ニ其目的ヲ達シ榮譽尊敬亦オシ自ラ之ニ從フベ
 シ是ニ於テ平始メテ快樂ヲ得タリト謂ヒツベシ人苟モ快樂ヲ得ル此ニ至ラバ
 復メ其快樂ヲ他人ニ分與スルコトヲ得テ尙一層ノ快樂ヲ覺ユルヲ得ベシ然ラ
 バ則チ各々天稟ノ才能ヲ磨キ適當ノ地位ニ立テ有用ノ人トナランコトヲ之レ
 務ムベキナリ

海外名哲士鑑終

海外名哲士鑑跋

唐の李瀚の蒙求といふは經史中其要を摘ミ萃を拔とる者ふ
 して便利あるものさめ大いよ世ふ用ひらき遂に勸學院の雀ハ
 蒙求を嘲つるといふ諺あるよ至る盛なりといふべし然るど
 も僅小嘉言善行ヲ集めし者よして儒者の糟粕ともいふべく
 當今よてハ兒童の翫物とやいそん然るよ泰西名賢の行狀よ
 至りてハ吾輩夢よたよ志らざりし英勇豪傑の苦學力行天帝
 の秘訣を探り地靈の蘊奥を窮めんとしてあるハ狂顛と呼べ
 れあるハ幻術と疑ふをれ終ふを幽暗ある獄よ下りて生涯を
 送るもあり又ハ身命を擲ちて犠牲とあり一大發明をふし世
 界よ大利益を與へとる人よも少あらす其等の行狀を輯め

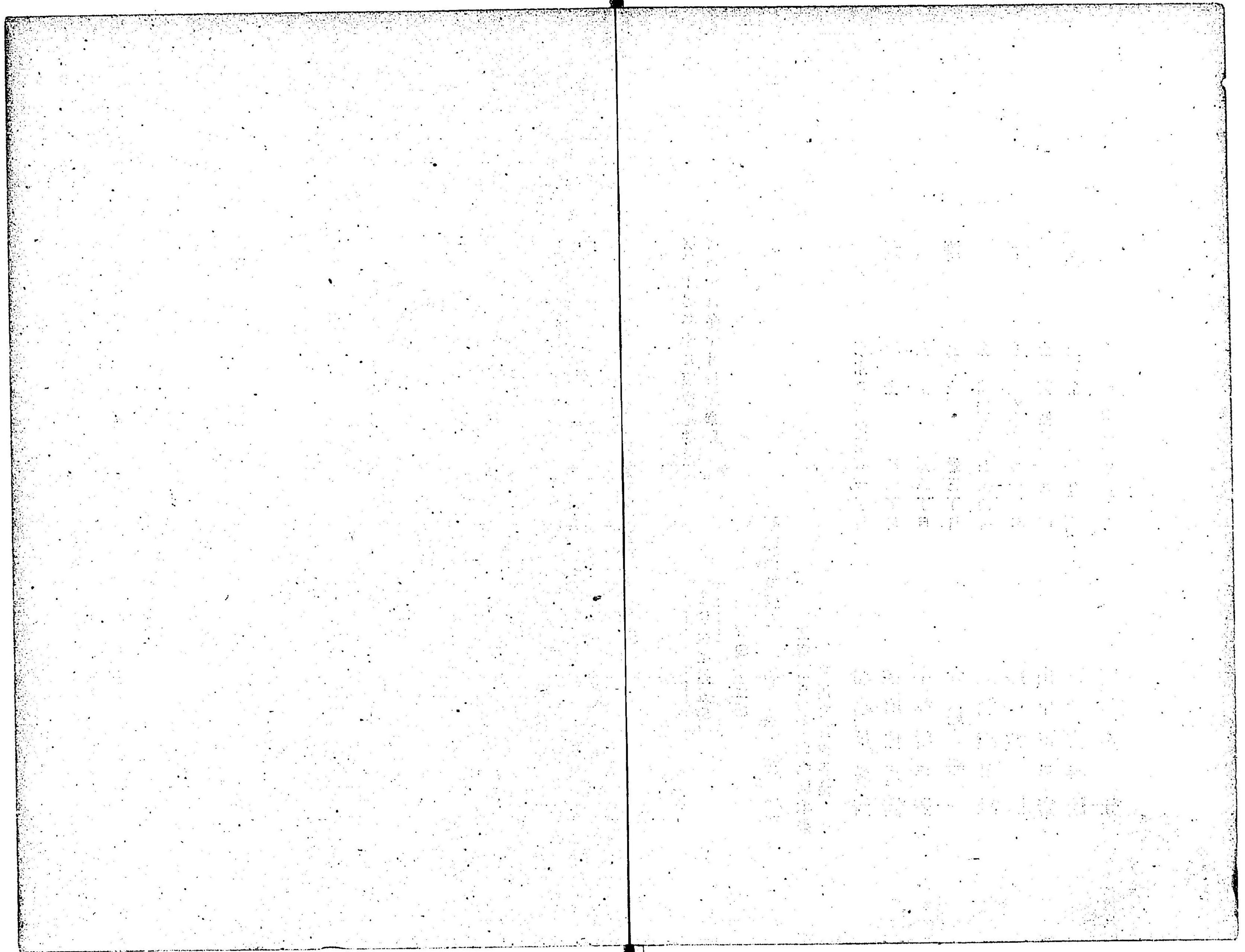
二
この書あり今度菊池君之を譯出せらるるを見よと海外名
哲士鑑と名付けらるるに彼童蒙は求め備へらるるの意を
るべきと李瀚の作に比すば一家内の經濟と天下の政事
との如し豈日を同じくして論すべけんや實に有益の良書と
いふべし小知は及ばず寒蟬は春秋を去らず鵲は蓬
蒿の間に翔りて我樂しと思へり茲は大鹏といふ者あり背は
泰山の如く翼を垂天の雲の如く一度旋風は羽を搏て九天に
登る時は一舉九萬里にして雲氣を絶ち青天を負ふて南を圖
るといへり我輩の如きも此書を讀みて終に寒蟬枯木を抱て
露を吟し鵲鵲荆棘の下に遊ひて身を苦しむるを己が樂しと
とせし志操も頓に忘きて大鹏の翼をよちて九天の下に翔ら

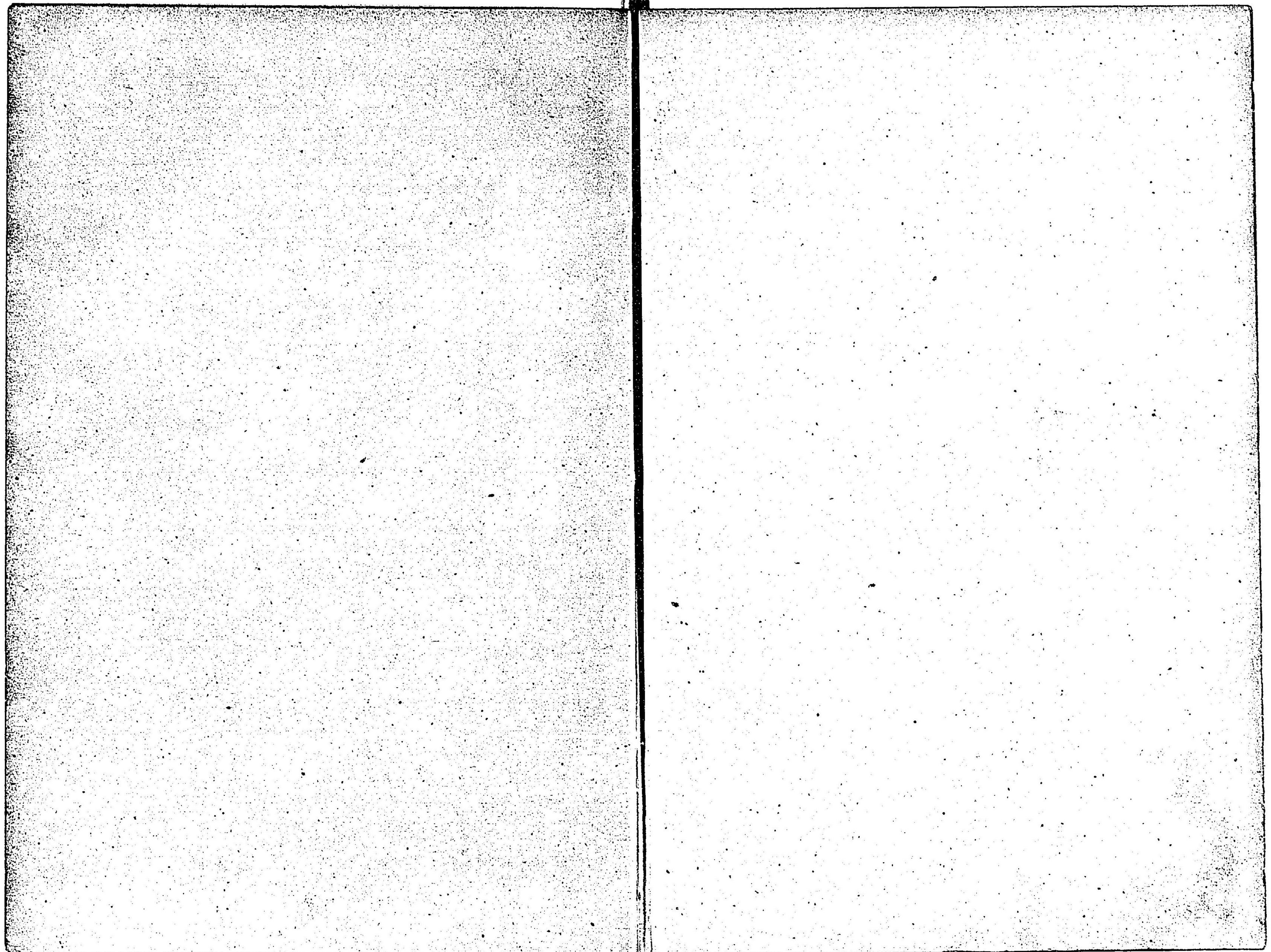
三
んとするの思想あり因ていさゝか小言を述べて感ずる所を
述るす

里見義記

正 誤

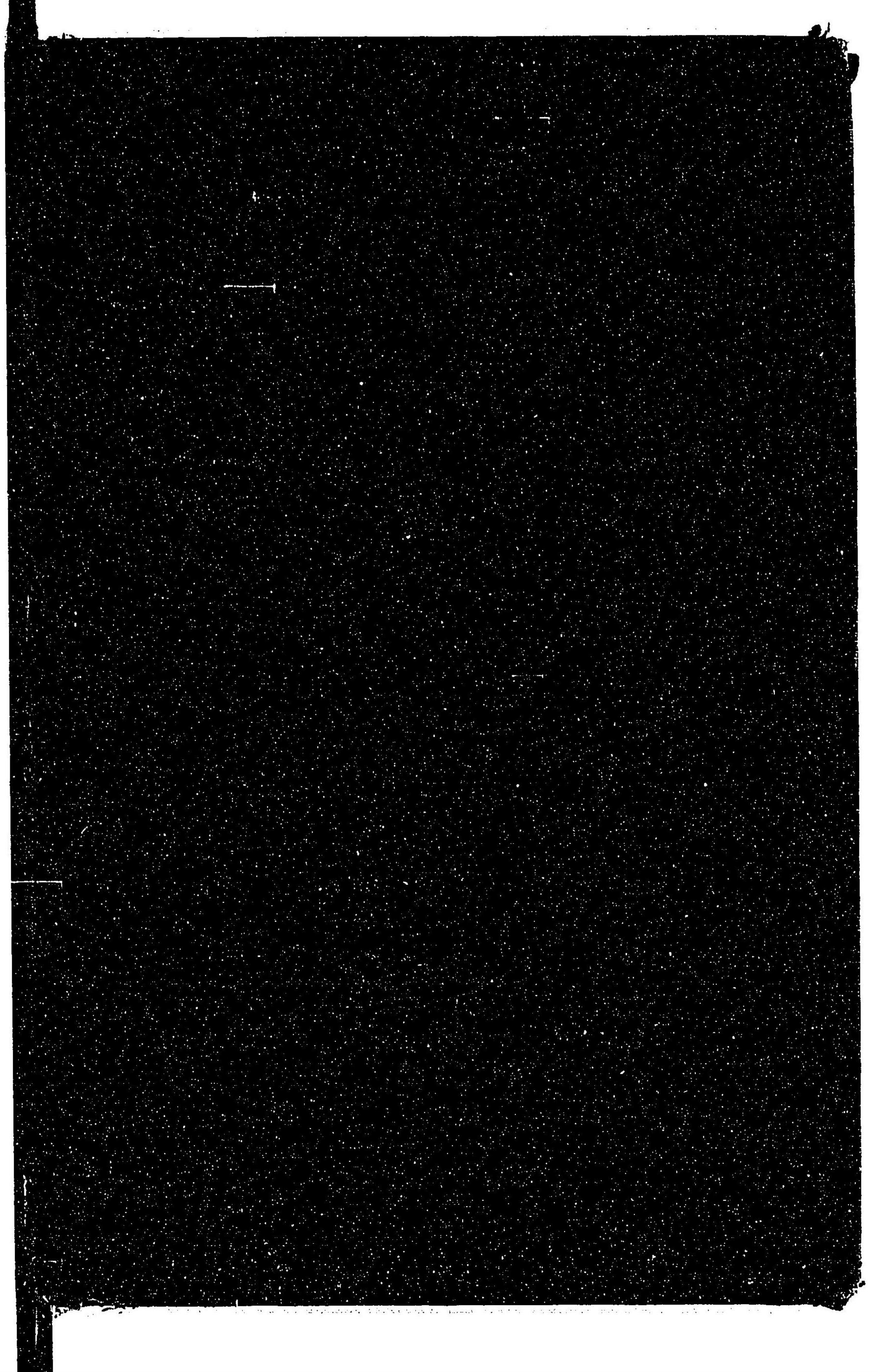
其六十 他五 所八 々	六十三 六六	四十七 六六	四十一 八八	三十七 五十三 三	三十一 一	二十七 七十三	二十一 一五	二十 一	同上 十四	十二 五	十 十二	丁 行	正	誤	丁 行	正	誤	
ガラスゴ ー	材料	陥ラザ ル	恰カモ	淡泊	メーエ ンス	眞發見 者	「クラ ウン」	ホルト ガル	思想	海圖等	尋常人							
ガラスグ ロー	財料	脱出ス ル	假令ヘ バ	淡泊	メーエ ンス	眞發者	「フラ ンク」	ホルト ガル	思想	海圖筆	尋常人							
		二百九 五	百八十七 十三	百七十四 十五	百六十四 四	百五十六 十五	百四十六 十	百三十六 六	百二十二 一	百十七 八	百九 三							
		「スピ リット、 オ フ、タイ ムス」	ハノー ヴル	ピウ非 ツキ	數學書	蒐集	土木司	ノッ チンハ ム	半ニモ 及バ	致々	十年							
		「スピ リット、 オ フ、タイ ム」	ハノー ヴル	ピウ非 ツク	數學書	塊集	工木司	ノッ チンハ ム	半ニモ 過ギ	致々	二十年							

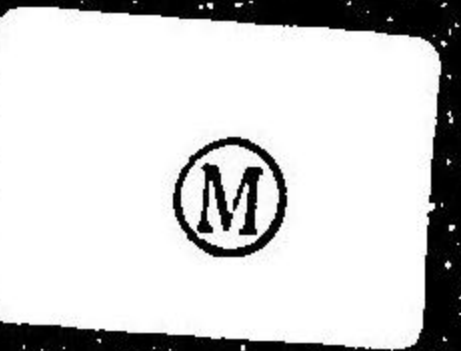
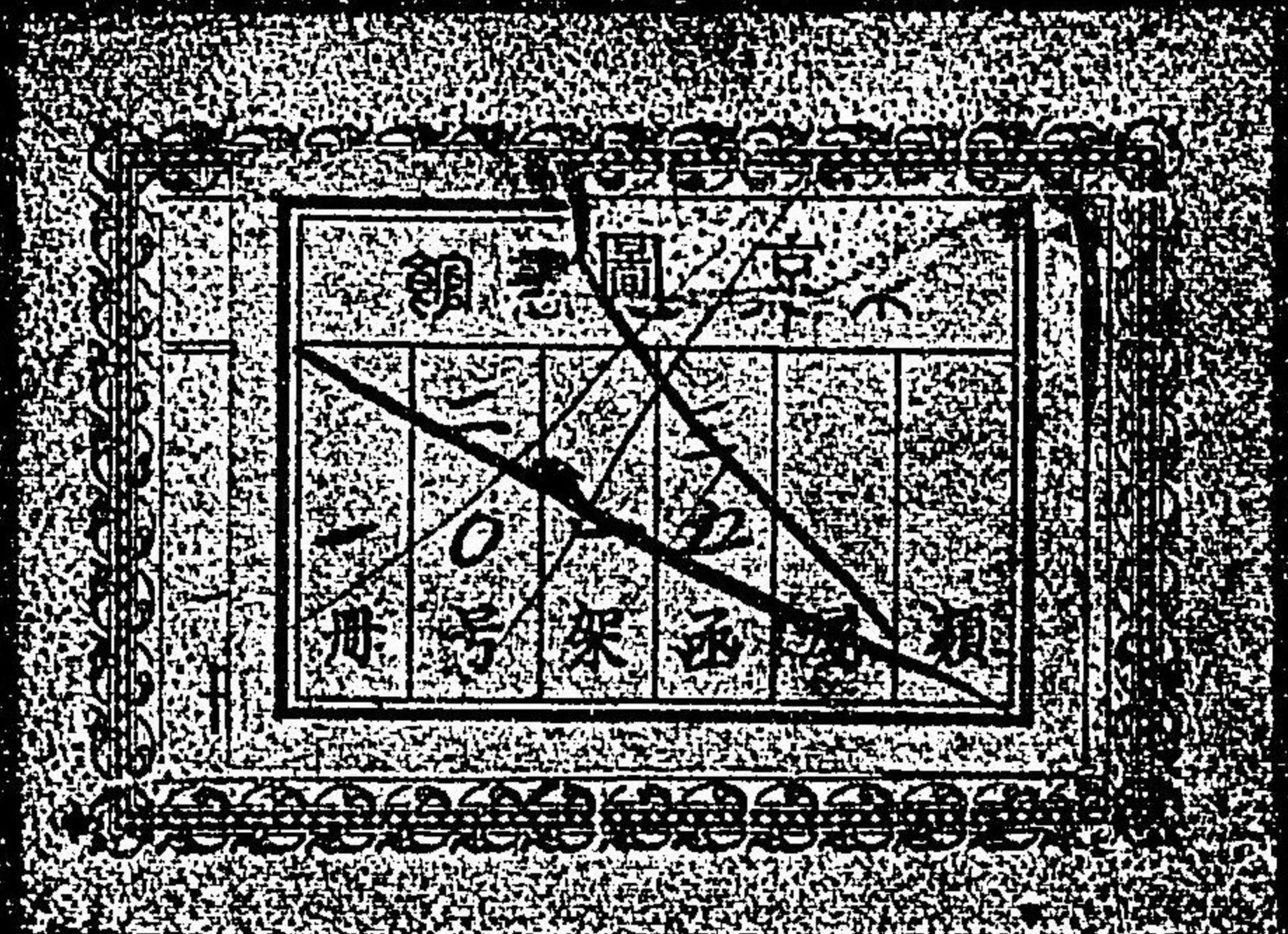




35
20







003846-000-2

35-20

海外名哲士鑑

張罷斯/著

M18

ACE-0027

